

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：平成30年6月11日（月）
9：35～12：20（2～4時間目）

場所：浜田市立波佐小学校

3学級教室・体育館・理科室

対象者：浜田市立波佐小学校5，6年生 7名

指導者：○6年担任

○埋蔵文化財調査センター2名

○浜田市教育委員会 1名

1. 主題（主題名）

奈良の大仏と古代の波佐地区

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・和同開珎を制作する体験を通して、古代の人々の生活や技術を考える。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点	準備物
9:35	1. 学習の見通しをもつ（教室） ・講師の紹介を聞く。 ・学習の流れをつかむ。	・講師の仕事や研究成果等を話す。 ・学習の流れを掲示する。	予定表 または板書
9:40 ～ 10:20 (40分)	2. 古墳時代や奈良時代について学ぶ（教室） (1) 学校周辺の遺跡について学ぶ。 (2) 古墳についての話を聞く。 (3) 出土品や資料を見学する。	・学校周辺の遺跡を紹介する。 ・古墳の種類などについて説明し、古墳の資料を提供する。	長机2 出土品 プリント
10:30 ～ 11:20 (50分)	3. 奈良の大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ（体育館） ・1m四方の部分のパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。 ・大仏が作られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。 ・独特な仏像の作風について質問し、疑問を解く。	・人数が少ないので中学年が応援 ・奈良の大仏の実物大パネルを活用。 ・理解しやすい写真パネルを多様。 ・一方的な節目に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。	大仏パネル 写真パネル
11:30 ～ 12:20 (50分)	4. お金の歴史について学ぶ（理科室） ・古代のお金について知る。 ・和同開珎を作る。	・和同開珎について説明する。 ・和同開珎の作り方、古代の技術について理解できるようにする。	ワークシート 体験セット カセットコンロ
11:20～	5. 学習をふり振り返り、感想を発表する（理科室）	・授業全体を振り返り、学習した内容を整理する。 ・質問や感想を発表する。	

4. 準備物等

- ・学校・・・予定表（板書），長机2つ，新聞紙
- ・児童・・・ノート，筆記用具
- ・博物館・・・ワークシート，出土品，写真パネル，奈良の大仏の実物大パネル，和同開珎作りセット